

ORTHOPANTOMOGRAPH™ OP 3D

簡便さと効率が融合した3Dシステム

診断に重要な画質はもちろんのこと、シンプルな操作で効率性を追求した新しい装置です。

日々の診療に不可欠なパノラマ撮影は簡便かつ確実に、3D撮影プログラムは汎用性が高く、一般歯科から顎顔面口腔外科、さまざまなユーザーに適応するイメージング機能を有しています。

パノラマ撮影は簡便かつ確実に

パノラマレイヤーを自動的に設定する ORTHOfocus™ 機能と、確実なポジショニングで最適なパノラマ画像を取得できます。



汎用性の高い3D撮影プログラム

最適な3D撮影領域と解像度の組み合わせで、幅広く臨床に活用することが可能です。被ばく線量を最小限にする領域や顎顔面領域まで撮影領域の変更が可能です。



Endoモード
最小80μm



最大撮影領域
φ14cm x H9cm
(Option)

撮影ワークフローを最適化

患者ポジショニングや撮影条件の設定など、撮影に関わるワークフローを最適化し、術者のストレスを最小限にしました。



セファロアップグレード

将来的な診療の拡充に合わせ、セファロ撮影機能のアップグレードが可能です。



発売名: オルソパントモグラフ OP 3D

一般的名称: アーム型X線CT診断装置、デジタル式歯科用パノラマ・断層撮影X線診断装置 認証番号: 229AIBZX00037000 設置管理医療機器・特定保守管理医療機器

Panoramic

標準パノラマ、小児パノラマ、側方向TMJ、バイトウィング撮影ができます。

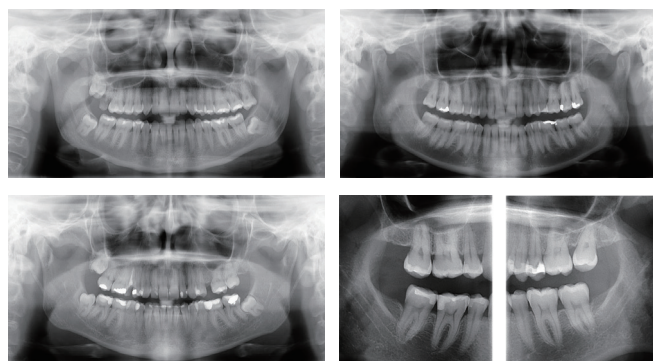
標準パノラマ撮影時間はわずかに9秒間で、被験者の体の動きを最小限にし、クリアな画像を提供します。

ORTHOfocus™ 機能で最適なパノラマ画像レイヤーが自動的に取得され、簡単に患者のポジショニングができます。

均一的な画質のパノラマ画像が得られます。

さらにORTHOselect™ 機能（部分パノラマ撮影）でデンタルチャートから必要な撮影領域のみを選択することで、患者さんへの被ばく線量を最適化することが可能です。

部分パノラマ撮影は、開口障害、嘔吐反射等によってデンタル撮影が困難な患者さんにおいて、代替撮影法としてご活用頂けます。



CT

一般歯科から顎顔面口腔外科、さまざまなユーザーに適応する3D撮影機能を有しています。

全ての撮影モードで金属アーチファクト削除機能を適用し、診断の阻害要因となる陰影障害を最小限に抑えました。

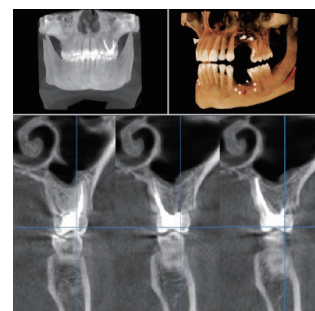
FOV $\phi 5 \times H5\text{cm}$

局所画像診断に最適な撮影範囲とボクセルサイズ $80\mu\text{m}$ の詳細な3D画像。



FOV $\phi 11 \times H9\text{cm}$

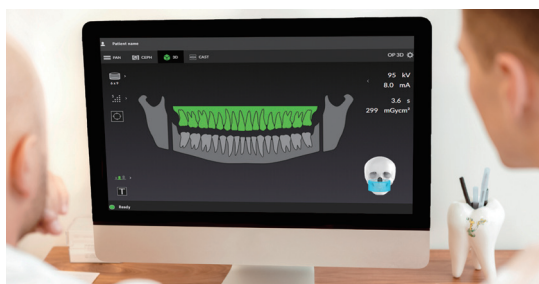
上下顎と上顎洞の一部を含む歯列全体をカバー。
オプションで直径14cmに拡大可能。



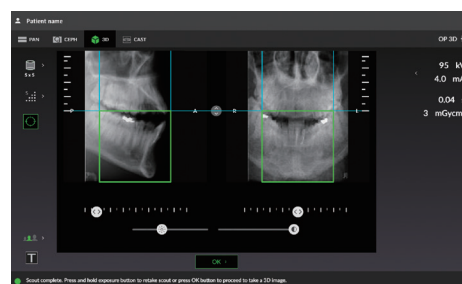
Work Flow

撮影のためのワークフローを最適化しました。

2D診断から3D診断へ、その頻度が増加しても、撮影手順のストレスは増加しないスムーズなワークフローを実現しています。



ORTHOselect™ グラフィックで関心部位を選択すると、最適な3D撮影領域が自動的に設定されます。
3D撮影領域を覚える必要はありません。



プレビュー機能で3D撮影の失敗リスクを大幅に低減しました。
撮影領域の変更も可能で、被ばく線量を抑えた的確な撮影条件を設定できます。



詳しい製品のご案内はこちら
OP 3D



CT装置にご興味がある方は
CTオンライン相談会へ



カボイメージングは、デキシスへ。
カボデンタルシステムズ株式会社は、エンビスタジャパン株式会社へ。

Envista

エンビスタジャパン株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー
TEL:0800-111-8600 FAX:03-6866-7273
www.envistaco.jp